

2027 年 2 月期 第 1 四半期決算説明会（アナリスト・機関投資家向け）

2026 年 6 月 29 日（月） 16 : 30 ~ 17 : 30

決算説明会における質疑応答の要旨です。ご理解いただきやすいように、内容は加筆・修正しています。

Q. しまむら事業の粗利率について

A. しまむら事業の粗利率は、実用品を中心とした冬物在庫の適正化や、雑貨の通季物の値下を行ったことで 0.1pt 低下しました。春物在庫は適正量を保ったことにより、値下を抑えられました。今後は、高価格帯商品の販売拡大による値入の確保や、価格設定の精度向上によって値下を抑制することで、粗利率の改善につなげます。

Q. 販管費について

A. 全体は、概ね計画通りです。人件費は、賃上げを行いながらも人員をコントロールし、計画通りの進捗となりました。広告宣伝費は、本社ビル内にスタジオを作成し、内製化を推し進めたことにより削減することができました。また、運行協力金の料率を見直したことで物流費の抑制につながりました。

Q. 自社ポイント制度について

A. 新規顧客獲得と会員証提示率向上を目的として開始しました。当初の目論見より提示率は低い状況でしたが、顧客情報を活用したメルマガ配信など個人向けの販促は結果がでているため、今後も提示率向上に向けた施策を強化していきます。

Q. 円安の影響について

A. 消費環境をみると中東情勢に影響された値上げの影響もあり、厳しい状況が続いておりますが、高価格帯の商品であっても価値と価格のバランスがとれていれば購入頂けることが実証できております。しまむら事業では、PB の強化を進めるとともに、キャラクター商品と PB のコラボ商品の展開や、独自のキャラクター商品の拡大など商品力の強化をすすめます。